



# 暮らしを楽しむ

## みんなの消費生活展

イベントを通して、食や暮らしの安全・安心などを考えてみませんか。

問い合わせ 安心安全推進課（市庁舎3階、☎65・4132）

日常生活をより安全に、快適に過ごすための知識やアイデアを、楽しみながら学べる「みんなの消費生活展」。新聞紙で作るエコバッグ教室やそば打ち体験のほか、消費者犯罪に関する事例の展示、地場産野菜が当たるスタンプラリーなど、子どもから大人まで楽しめる催しが盛りだくさんです。ぜひお越しください。

**日時** 9月15日(金)、16日(土)、10時～17時(16日は16時まで)

**場所** とかちプラザ(西4南13)

### 事前申し込みが必要な行事

#### そば打ち体験

講師が丁寧に指導します。初心者にも参加しやすい体験会です。そば打ちを始めてみませんか。

**日時** 9月15日(金)、10時～13時

**定員** 先着10人

**費用** 500円

**申し込み** 9月1日(金)～14日(木)までに、電話で帯広消費者協会(☎22・7161)へ。

#### 消費者講演会

佐々木和生氏(東洋大学食環境科学部食環境科学科教授)を招いて

### 主な催し

体験	新聞紙で作るエコバッグ教室
	ネコキャップ作り
	清涼飲料水を作ろう! 糖度調べ
	クイズにチャレンジ
	秋の味覚試食会(両日12時～整理券配布)
	はかりにチャレンジ
	地場産野菜が当たるスタンプラリー
展示	気になる塩分チェック(両日11時～12時)
	やってみよう! オビロビ体操(16日、13時30分～)
	古布回収コーナー
	便利小物の展示
	振り込め詐欺の実態を知ろう
	防災グッズ展示
	電動生ごみ処理機などの展示
洗濯表示などのパネル展示	

\*体験は材料がなくなり次第終了

て、「身近な遺伝子組み換え食品」をテーマに、食卓にさまざまな形で使われている遺伝子組み換え食品に関する情報を紹介します。

**日時** 9月16日(土)、10時30分～12時(開場10時)

**定員** 先着150人

**申し込み** 9月12日(火)までに、電話で安心安全推進課へ。

**作ってみよう発泡入浴剤**

ミルク、アロマの2種類の発泡入浴剤を手作りします。

**日時** 9月16日(土)、10時～12時

**定員** 先着15人

**費用** 500円

**申し込み** 9月1日(金)～15日(金)までに、電話で帯広消費者協会(☎22・7161)へ。



オリジナル新聞エコバッグを作ろう



ハンカチがネコ型の帽子に



清涼飲料水の糖度を調べてみよう

### 市長コラム

## 夢かなうまち おびひろ

「ワクワク」が共感と呼ぶ

帯広市長 米沢 則寿



9月24日から、秋のごみ減量・資源化促進月間が始まります。帯広市では、平成9年に資源回収事業(Sの日)を開始して以来、市民の皆さんのご協力により、市民1人1日当たりのごみ排出量は、過去10年間で最少となり、道内主要都市の中でも、リサイクル率とともに上位に位置しています。

2年ほど前に、斬新な発想でリサイクルビジネスを展開されている、日本環境設計の社長を務める岩元美智彦さんに、帯広で講演していただく機会がありました。

1985年公開の映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」で、ごみを燃料にして車が走っている未来の姿に感銘を受けた、当時大学生だった岩元さんは、商社勤務を経てベンチャー企業を立ち上げ、これまでごみとして処分されていた衣料品などを燃料に変える独自の技術を開発しました。さらに燃

料の原料となる古着などを回収する仕組みづくりにも取り組みます。古着の回収ボックスを小売店に設置し、古着からできた燃料で、映画と同じ車を走らせるイベントを開催するなど、消費者の「ワクワク感」を高めながら、「買って捨てる」から「リサイクルして買う」へと消費者の意識と行動を変えました。その結果、リサイクルと消費を結び付けた誰もが参加しやすい仕組みが出来上がったのです。

東京オリンピックピック・パラリンピックのメダルを、携帯電話などのリサイクル金属で作る国民参加型の企画。帯広市も参加していますが、これもまた、岩元さんたちの提案から生まれたものです。

使い古された携帯電話がキラキラと輝くメダルとなつて、表彰台のメダリストの首にかけられる。こんな場面を想像すれば、誰もがワクワクして、携帯電話の回収に参加したくなるのだと思います。

これまで捨てた後の「ゴミ」の姿など無関心だった人たちが、岩元さんの「ワクワク感」の演出により、リサイクルの意義を実感するようになる。「ワクワク感」が、人々の共感や共鳴、さらには当事者意識を生み、やがて、これまで課題や問題であった「モノ」が、未来の資源に変わってゆく。

行政の取り組みの、その先にある「市民の幸せ」や「十勝・帯広の輝く未来」といった姿を、市民の皆さんと共有し、共感できているだろうか。そして、その実現に、市民の皆さんと「ワクワク感」を持って臨んでいるだろうか。

岩元さんの視点は、私たちの「市民協働のまちづくり」に、大きなヒントを与えてくれています。